

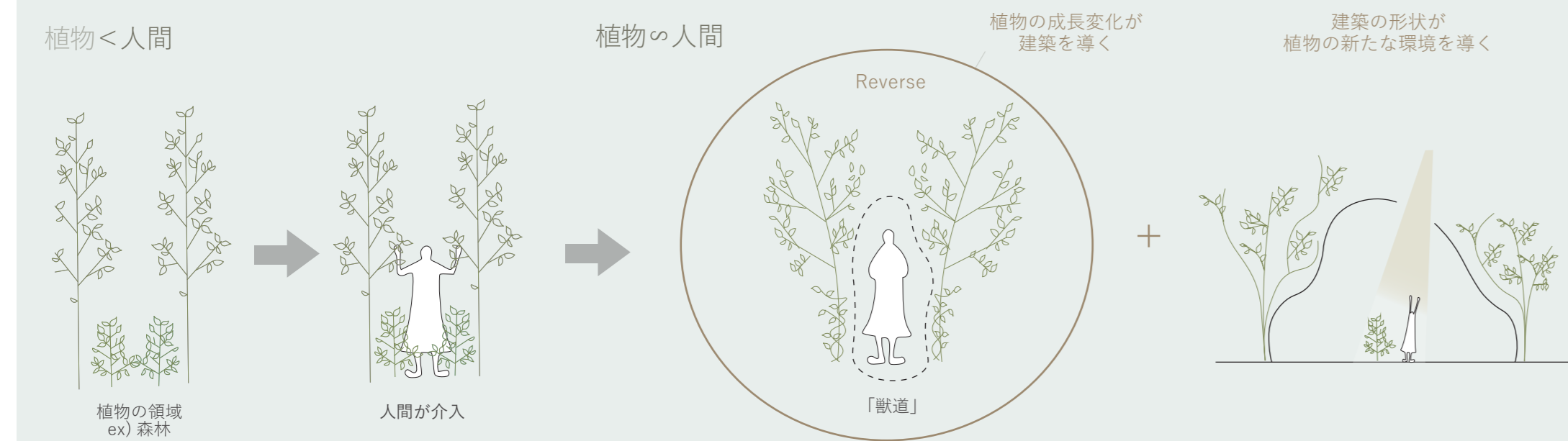


Completion



10 years later

Program1. 未来の地球のために再考する自然と人間の関係性

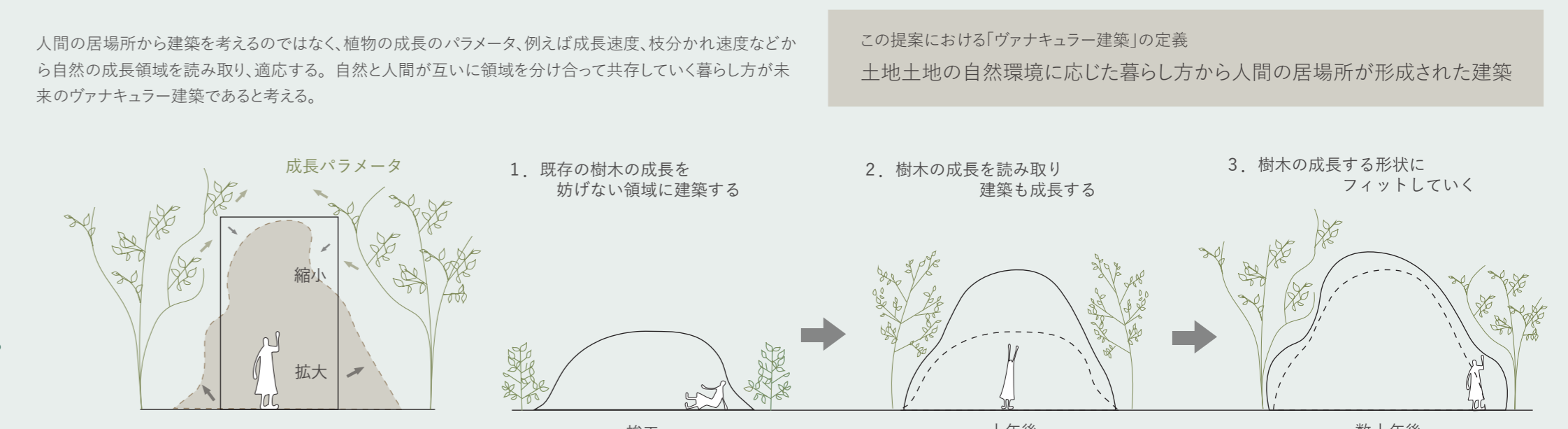


植物の建築

～パラメトリックデザイン×ヴァナキュラー建築～

植物などが暮らす自然環境の中に獣、人間が日常的に介入し続けると、植物は避けて成長するようになる。「獣道」いわゆる人間の領域が構築され、植物の暮らす自然環境に新たな秩序が生まれる。建築が構築されるときにもこの現象が繰り返され、人間が植物などの自然環境を破壊してきた。未来の地球のための建築とは、自然と建築が互いに導き合い、本当の意味で共生していくべきではないだろうか。

Program2. パラメトリックデザイン×ヴァナキュラー建築



30 years later



60 years later

Diagram 1. 植物⇄建築から考える配置計画

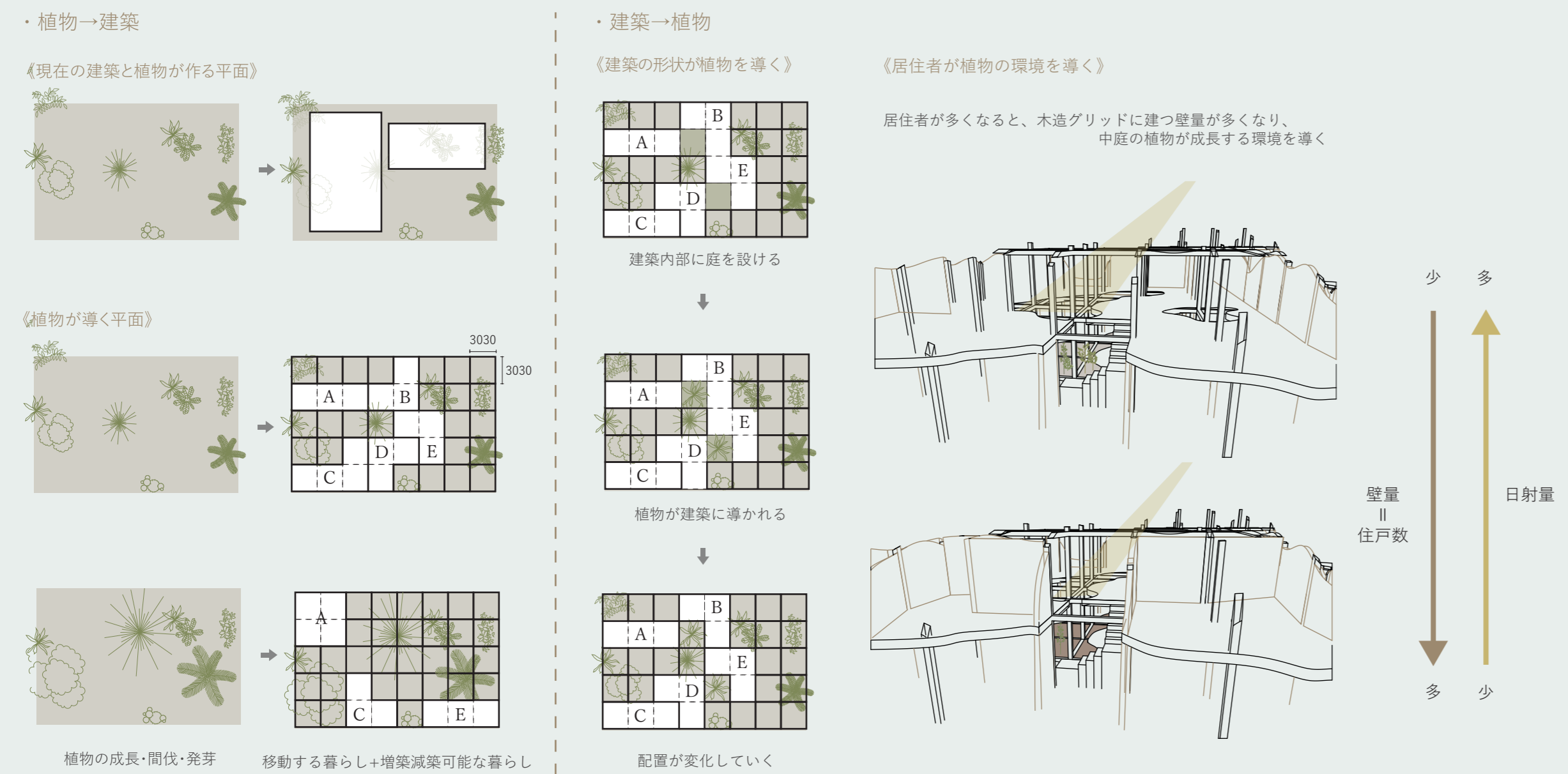
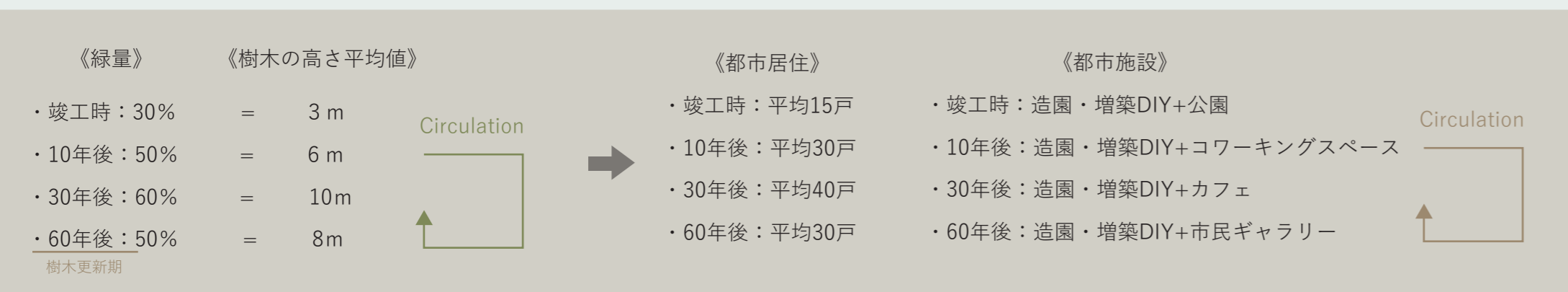


Diagram 2. 樹木⇄建築での可変する暮らし

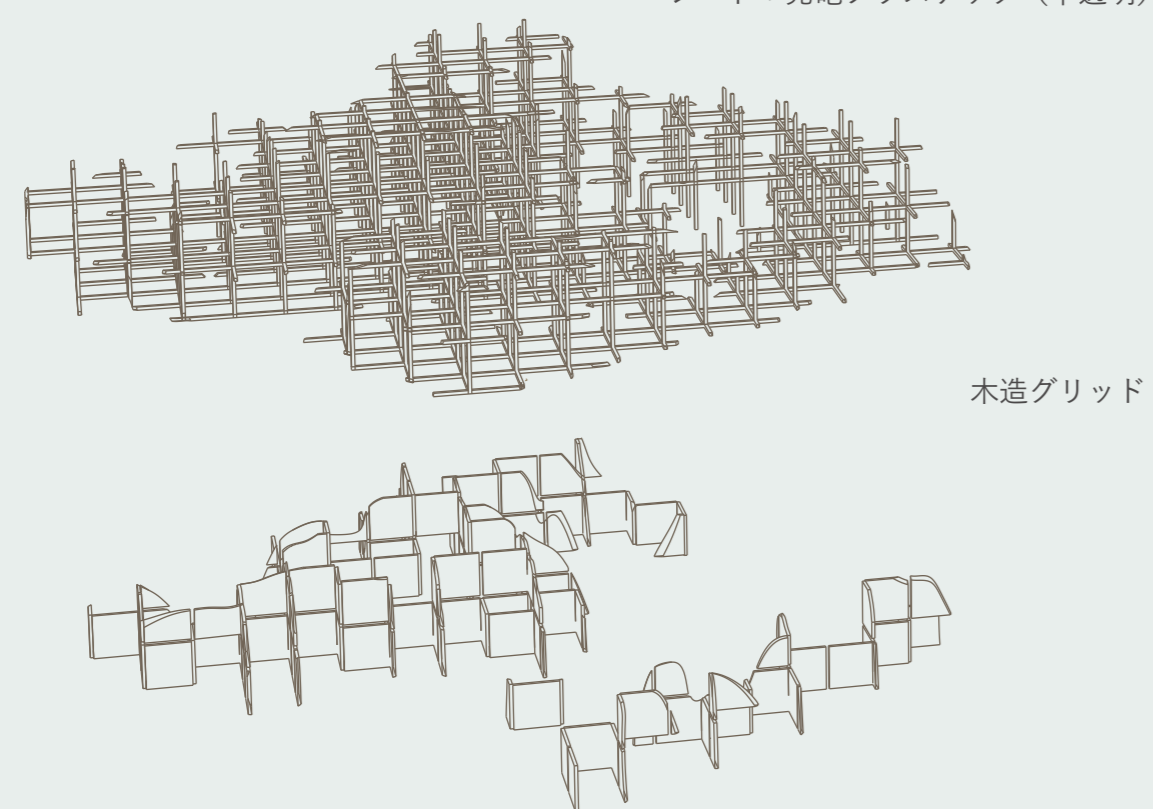


膜構造：可変部位
空気圧調整
植物成長パラメータ



シート+発砲プラスチック（半透明）

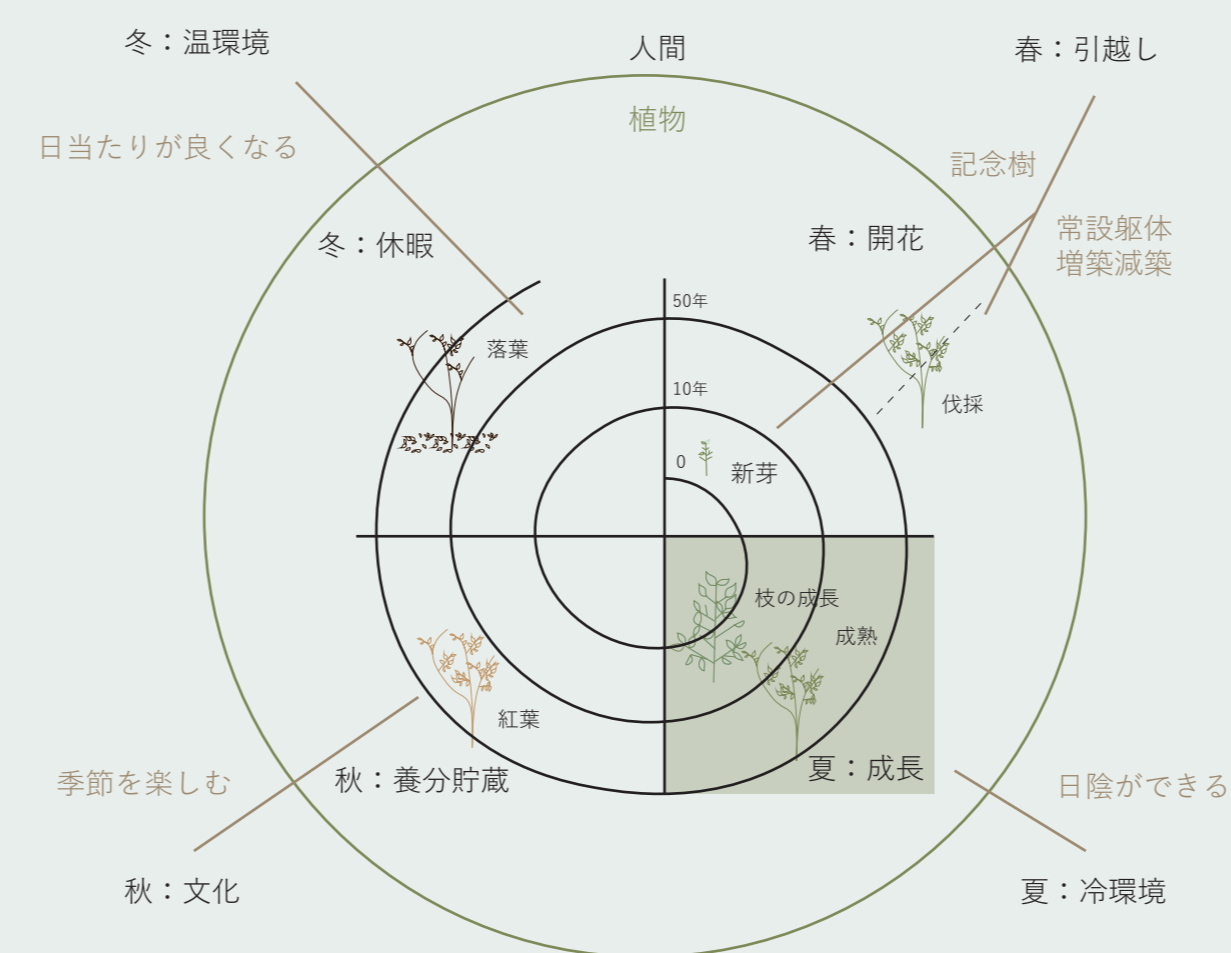
木造：基本的に常設
植物の成長に悪影響をきたす範囲内になったら
減築・増築



木造グリッド

Program 3. 樹木の成長サイクルと都市生活

都心には、中庭などの路上からは隠れた領域に緑が残っている。その貴重な緑を活かし、人間と植物が互いに相手の生活環境を考えながら暮らしていく。新しい居住者を迎入れる時期に、新しい庭が設けられ、居住者の記念樹として、植物とともに、暮らしも成長していく。忙しい都市に時の流れを感じる居住環境を与える。



3030

B'

43762

S=1/100 築10年 1階平面図



23870

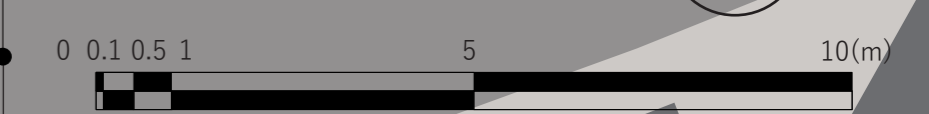
A'



59097

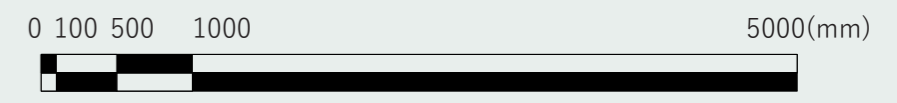
59409

S=1/100 築10年 2階配置兼平面図

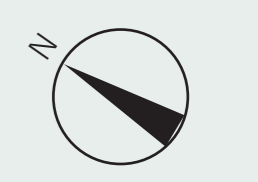




S=1/50 築10年 断面詳細図



S=1/100 築10年 3階平面図



34817

15925

19700

58014

15

B

A'

B'

